

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和5年4月19日

2. 認定事業適応事業者の名称

富山小林製薬株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

開始時期：令和5年4月

終了時期：令和5年12月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

令和5年度より事業適応を開始し、当年度末（目標年度）に当社全体の炭素生産性は炭素生産性が28.8%の向上となった。医薬品、健康食品等の製造における生産ラインにおいて、排出されるエネルギー起源CO₂の抑制を図るため、従来の設備よりも消費エネルギーを抑えた空調設備を導入した。また、令和5年度は1月以降、富山小林製薬株式会社の工場使用電気の30%を再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電気「かがやきGREENピュア」に切り替えることで、CO₂の削減を図った。段階的に切り替え、2026年には購入電気の100%がCO₂フリー電気を予定している。上記より、製品の製造時に排出されるCO₂を減少させていくことで、環境への負担低減を進めている。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

生産ラインの設備毎の炭素生産性向上を目標とし、従来の設備よりも消費エネルギーを抑えた空調機器を設置した。実績は、当初計画に対し、夏季において一時的なエネルギー使用量増となったが、その後、他季においてエネルギー使用量が減少している。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

令和5年度（計画終了年度）に営業利益は当初計画に対して下回ったが、その要因は原資材値上げの価格転嫁によるものである。

（4）実施した事業適応計画の内容

令和5年度において、従来の設備よりも消費エネルギーを抑えた空調機器を設置した（医薬

品生産ラインは6月に8台、健康食品等の生産ラインは9月に2台)。